

Woman

玉手箱の中の人生ガイド

占い師

竹村亞希子



取材/プレスサービス



# Woman



読書のひと時。心算書の数は膨大

私って神秘性が全然ないでしょう。だから初めての人だと、秘書が何かと思われちゃうでしょうね。私に向かかって「さよらはお休みてですか」なんて、よく尋ねられます。「私が竹村です」って言うのと、みなびつくりされますよね。スタッフも私のことは「竹村さん」なんです。まだ先生と呼ばれるほど降参(こうさん)してませんから笑。

古いを職業にしたのは、自分のイベントが欲しかったんです。イベントとして何かやるとしたら古いしかなかったわけ。易て卦を立てたら「やれ」って出たのね。それで半年くらいかけて、それまでに勉強したことを総復習したんです。いざ始めようとして、料金がわかりません。有名で有名な古い師さんのところを5ヵ所

ぐらい回って、これだけやってこれぐらいの料金かと思ったんです。

この時、占いで占う人の人生観によって全然違うところがわかりました。普通は、悪く出たからダメだとか、運が強いからうまくいくんだとか、そういう答えが多いんです。イメージにいくものは吉で、デイトイカルトなものは凶なんです。でも私は、そういう考え方はしません。

良い悪いじゃなくて、迷っていることをやっていくのに、どうしたらいいのかを問題にするんです。

難しくても意義のあることって、あるでしょ。苦勞が多くても実りあることなら、失敗してもいいからやってみること。時には必要ですよ。だから臆断(おぼろ)しない方がいいやなくて、連絡するところなる。

これだけは注意しなさいよ。これに気を付ければこうなる。さあ、あなたはどうしますかってなるわけ。で、決めるのはその人なんです。自分の人生は自分で考えて行動するものでしょう。そのためのお手伝いならいくらでもします。だけど依頼心だけに来るお客さんには、はっきり言ってお帰りくださいと言いたくなるわ。

私のところにおいてになる方は、どちらかというくらい深刻に悩んでいる様子ではないみたい。割と心に余裕を持って来る人が多いようです。古いを一つの情報として考えている感じですね。

みなさんが知りたがるのは具体的なことなんです。女の人だったら恋愛や結婚問題が圧倒的。男の人なら仕事上の悩み

が多いわね。企業の経営者や人事担当者なんかになると、この人を役員にしたら会社はうまくいくだろうかとか、この人を採用してもいいだろうかというように相談してすね。この時も私の占いはあくまでも参考意見。最終的には社長や人事部長が決めることですから、もし古い師の言うことで簡単に考えを変えようというのは、事業主としては失格ですよ(笑)。

『古いの手帳』主宰、古いに興味を持ったのは小学2年生の時。本格的に習い始めたのは中学2年生になってから。5年間所属した師人が師。高校卒業後3年間、銀行勤務。53年に開業。易を中心にあらゆる方法で占う。原稿執筆、講演などもこなす。現在26人のスタッフをかかえ、イベントにも派遣。愛知県徳高校卒。名古屋出身。

